

平成21年度 強い水産業づくり交付金
(経営構造改善目標)事後評価結果について

整理番号	21-12	高知県	
メニューの内容	魚体選別機	(施設名)	魚体選別機
事業実施主体	高知県漁業協同組合		
評価期間	平成22年度～24年度		
事業費	18,249	千円	
交付金額	9,124	千円	
成果目標	3年間の総便益	21,198 千円	
実績値	3年間の総便益	40,731 千円	
成果目標の達成率	192.1	%	
事業の目的	<p>三津漁業協同組合は、平成20年4月に高知県漁業協同組合と合併し、高知県漁業協同組合三津支所となった。同支所の年間販売額は約2億6千万円から3億6千万円であるが、そのほとんどを大型定置網の事業体である三津大敷組合が占めている。魚種はさば、あじ、めじかなどの回遊魚が多く、漁期には一度に大漁に獲れることが多く、荷捌き作業を迅速に行うことが魚価安定の重要なポイントとなっている。</p> <p>三津大敷組合の水揚げは朝6時半頃と昼1時半頃で、入札は朝8時半頃と昼2時半頃のそれぞれ日に2回行われている。この水揚げ作業に伴う荷捌き作業は、現在、手作業によって行われており、大漁の漁獲があった場合には、通常の大敷従業員に加えて大敷組合員の出役作業に頼らざるを得ない状況であった。</p> <p>手作業では、最初に魚種別に選別し荷捌きタンクに一時保管、再度作業台に移して大きさ別に選別しなければならないため、手間と労力を要し、漁獲物の鮮度悪化を招いたり、入札開始時刻に影響を与えることもあったが、このような手作業による荷捌きの弊害を解消することと、省力化による出役経費の削減を目的に魚体選別機を導入した。</p>		
事業の成果	選別規格の細分化、選別作業の迅速化等により漁獲物の鮮度が保て、品質が向上した。また選別作業に係る人手の削減にもつながり経費の削減ができた。		
その他特筆すべき事項			
成果目標が未達成(達成率が70%未満)の場合はその理由及び改善方策			
備考			